

令和元年度

公益財団法人名古屋みなと振興財団 事業報告書

## I 総括事項

令和元年度は、名古屋港水族館が環境教育の拠点となる新施設「エコ・アクアリウム～海の未来を考えよう！～」の常設展示に向けた整備や当財団職員、外部の研究者等が研究成果を発表する施設の整備などに取り組んだ。また、8月には平成4年に開館して以来の累計入館者数5,000万人を達成した。一方で、令和2年3月2日から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、名古屋港水族館を始めとした諸施設を臨時休館とした。

さらに、引き続き、海事思想の啓蒙と海洋文化の普及及び海洋生物等の展示並びに調査研究に努め、併せて観光事業の振興を図り、名古屋港の発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

### 1 公益目的事業

#### (1) 海事思想及び海洋文化の普及に関する事業

##### ① 体験プログラムを通じた海洋文化の普及（資料1）

小中学生（大人含む）若しくは小学生とその家族（保護者）を対象とした水族館内でのスクール、講演会など主に水生生物に関する知識を深めるため、次の各事業を実施した。

ア 水族館スクールとして、昨年度に引き続き「君もドリトル先生になれるか！」

「もっと知りたい！ダーウィン教室」の2種を実施した。前者は、比較的手軽に参加していただけるスクールとしてバックヤード見学を中心とし、小学生とその家族を対象として開催した。特に応募の多かった講座については回数を追加して実施した。後者は、より生き物好きな人に満足していただけるよう、少人数で作業や実験・観察を行う充実した内容のスクールとした。

イ 名古屋市及び全国14都道府県で採用している小学4年生の国語の教科書（ひろがる言葉 小学国語 4下：教育出版株式会社）に、平成28年度から当館のウミガメに関する取り組み（飼育、放流調査研究等）が紹介された。内容を補完するために、名古屋港水族館ホームページにウミガメ特設コーナーを設置、市内教員向け著者講演（バックヤード見学会）、市内児童向けウミガメレクチャーの3点を実施した。

※実績

- ・市内教員向け著者講演 18校31名参加（8/19・20の2回実施）
- ・市内児童向けウミガメレクチャー17校1,051名参加（10/16～12/18に計9回実施）

ウ 水族館に宿泊して水族館の生物の観察などを行う「お泊り水族館」を小学生の家族を対象に実施した。また、閉館後の水族館の生き物たちの「夜の生態」を見学する「ナイトウォッチング」を開催した。

エ 特別展は、昨年度より継続して「寿司ネタ大集合～水族館が斬る！寿司のいろいろ～」を6月2日まで実施し、7月13日から1月19日まで水中でくらす生物の体色、模様不思議や役割を取り上げた「カラフルコレクション～絢爛華麗（けんらんかれない）な水の生き物たち～」を開催した。また、5

月の改元を記念して平成の主な出来事を写真パネルと歴代の PR ポスターで振り返る「名古屋港水族館平成のあゆみ」を開催した。さらに、“改元”、“ハロウィン”、“クリスマス”、“正月・干支”など時節ごとの展示も行った。

オ 8月3日から18日までの期間、名古屋駅前の商業施設ミッドランドスクエアにおいて本年度で12回目となる「名古屋港水族館 AQUA LIVE! in ミッドランドスクエア 2019」を開催した。ウミガメの子ガメ、熱帯性海水魚、クラゲを始めとする生物展示のほか、シャチの大型パネルや名古屋港水族館のイメージ映像を交えて水族館の魅力を PR した。また、3月28日にリニューアルオープンした「ウミガメ回遊水槽」、7月13日に開幕したばかりの特別展のほか、夜の水族館を楽しめる「サマーナイトアクアリウム」などの配布チラシを使って積極的に紹介することで、来場者の満足度を高めるとともに名古屋港水族館への誘客も図った。

## ② 機関紙等による情報提供（資料2）

ア 水族館機関紙「さかなかな」を年4回発行した。また、学習教材「かんさつノート」は、生物状況に応じて改訂し、来館した小中学生の希望者に配布した。特に教育旅行で訪れた小中学校の団体には企業協賛で増刷した簡易版を提供し、教育普及に活用した。

イ 生物情報紙「新着！海の生き物レター」は、7回発行し、来館者に対して当館で初めて南極の昭和基地から生物を搬入して展示したこと、名古屋港に来遊する野生のスナメリの調査を京都大学と東海大学の2つの大学と共同で実施したことなどタイムリーな話題を提供した。

## ③ 体験プログラムを通じた海事思想の普及（資料3）

広く一般を対象とし、海事に関する知識を深めるため、次の各事業を実施した。

ア 「帆船模型展」、「工作教室（ペーパークラフト教室、立体カード工作教室、ボトルシップ製作教室）」、「南極教室」、「南極観測船ふじでの星空見学会」、「夏休み工作教室（立体ノート工作教室）」等の事業を実施した。

イ 親しまれる港づくりの一環として、元旦にポートビル展望室から初日の出を眺めるイベント「港から始まる2020」を実施し、186名が参加した。

## ④ 学生の職場訪問及び教員研修等の受け入れ（資料1）

教員、学生を対象とした教員研修や職場訪問・体験指導などを受け入れ水族館及び海洋博物館等での体験プログラムや解説を実施し、また、学校団体へのレクチャーを実施することにより、参加者を通じて一般市民へ海洋文化及び海事思想の普及を図った。

## ⑤ ボランティアの育成、活用（資料4）

ボランティアを育成、活用することにより、当該ボランティアスタッフ及び来館者へ海洋文化及び海事思想の普及を図った。

ア 水族館のボランティア活動は、本年度登録者数 208 人で実施した。主な活動は、来館者への展示生物の解説や水族館スクールの補助に加え、ボランティアが計画実施する朗読会や工作会の開催等で、(年間活動延べ人数は 2,772 人) 総活動延べ時間は 10,820 時間であった。

イ 南極観測船ふじのボランティア活動は、解説ボランティアとメンテナンスボランティアの 2 種類を実施した。解説ボランティア (12 名) は、館内施設の説明等を実施し、来館者から好評を得た。総活動延べ時間は 435 時間であった。また、メンテナンスボランティアは、4 名で船体及び周辺施設の塗装・修理等を実施し、施設の維持に大きく貢献し、総活動延べ時間は 58 時間であった。名古屋海洋博物館でも博物館の更なる魅力向上のため、ボランティア (3 名) による解説活動を行っており、総活動延べ時間は 190 時間であった。

#### ⑥ 研究会・ゼミナール等の開催 (資料 3 及び 5)

ア 共同研究講演会は、野生鯨類についての講演を計画し実施した。第 1 回は、北海道大学北方生物圏フィールド研究センターの三谷曜子准教授を招聘し、「北海道でのシャチ研究 なぜシャチは北海道の海にやってくるのか」(参加者 83 名) を実施した。また、第 2 回は、水族館とも共同研究を行っている近畿大学農学部水産学科海棲哺乳類学研究室の酒井麻衣講師を招聘し、「イルカの社会行動を調べてみよう！」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした。

イ 主に名古屋港を職場とする会社の職員等を始めとした市民を対象に「名古屋港港湾ゼミナール」を開催し、港湾情勢の他、経済・社会の変化など幅広い見識を深めた。

#### ⑦ 指定管理施設 (水族館) を活用した海洋生物の展示等 (資料 5)

海洋生物の展示を通して次のとおり海洋文化にふれあう場を提供した。展示にあたってはテーマに沿った計画を策定し、生物の健康と飼育環境管理を適正に行い、生物の特性を引き出す展示を行うとともに、飼育担当者や解説ボランティア等による解説等を積極的に行い、来館者への海洋文化普及を促した。

ア シャチ「ステラ」「リン」「アース」の 3 頭の展示を継続し、併せて公開トレーニングをメインプールにおいても実施した。「リン」と「アース」が広いプールを活発に泳ぎ回りジャンプする姿や観覧席の直ぐ目の前に上陸する姿は人気を集め、これまで以上に多くの来館者に好評を博した。なお、「アース」はオスであるため、メスである「ステラ」「リン」との分離訓練を昨年同様不定期に実施した。11 月 13 日に「リン」は 7 歳を迎え、体長が 4.7m、体重が 1.5 トンを超えるなど順調に成長している。10 月 13 日に 11 歳となった「アース」も体長が 5.4m、体重が 2.2 トンを超え、背鰭・胸鰭・尾鰭の各鰭が大きくなりオスの二次性徴の特徴が見え始めている。

イ バンドウイルカの繁殖について、「アン」「ユウ (6 歳メス)」親仔に加えて、「ゼロ」「カイ (5 歳オス)」親仔・「ココ」「ソラ (3 歳オス)」親仔がパフォー

マンスに参加するためメインプールに移動する練習を行い、不定期ではあるがパフォーマンスに参加できるようになった。また、平成 29 年度に誕生した腰部に湾曲的症状がある「ハッピー」と人工授精に成功し平成 30 年 5 月 17 日に誕生した「ハル」は順調に生育し、展示を継続するとともに成長の様子をパネルなどで情報発信した。

ウ 10 月 4 日にバンドウイルカの「カイ」が急死した。死亡原因は、解剖及び外部機関に依頼した詳細検査の結果から「急性出血性腸炎」と思われた。

エ 平成 21 年に誕生したカマイルカ「アイ」は 10 歳を迎え、イルカパフォーマンスに継続的に参加している。ジャンプで 3 回ひねりを入れる種目「垂直バレルロール」をイルカパフォーマンスで公開し、引き続き好評を得ている。

オ 平成 29 年に新設された「ごまちゃんデッキ」では「フィーディングタイム」を継続して実施し、4～6 月、9 月中旬～11 月には「ペンギンよちよちウォーク」を定期的に開催し、しおかぜ広場に多くの来館者を集めた。

カ 平成 19 年 7 月 25 日に誕生したベルーガ「ナナ」、平成 24 年 8 月 2 日誕生した「ミライ」は、共に順調に成長し、それぞれ 7 月と 8 月に 12 歳と 7 歳を迎えた。このほか、ベルーガの生態を更に分かりやすく紹介する目的で実施しているイベント「ベルーガの不思議な魚の食べ方」を引き続き実施した。また、平成 30 年度に設置したプロジェクターにより、野生のベルーガや北極の映像及び公開トレーニングの様子をリアルタイムで投影し、展示効果を高めた。

キ 休止状態であった「シャチロボットシアター」を改修し、研究成果を発表する施設として整備した。

ク 北館 3 階シャチ水槽前の擬岩の一部を撤去し、通路を拡張することにより、来館者の安全を確保した。

ケ 「黒潮大水槽」で実施するイベント「マイワシのトルネード」では、照明と音楽を時節ごとに変更し、来館者の好評を得た。

コ 日本の海「潮間帯の生物」水槽の改修工事を 11 月から実施し、愛知県知多半島の磯をイメージした擬岩の作り替えやアクリルガラスの設置を行い、観察しやすくした。なお、3 月末からの運用予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により延期とした。

サ 平成 31 年 3 月末にリニューアルオープンした「ウミガメ回遊水槽」では、イベント「フィーディングタイム」をクイズ、給餌体験などを盛り込んだ来館者参加型とし好評を得た。

シ 平成 31 年 3 月に改修を行った“南極の海”コーナーでは、第 60 次南極地域観測隊が採集し、同観測隊、国立極地研究所及び南極 OB 会東海支部の協力を得て入手した「キバゴチ」、「ショウワギス」の展示を行った。

ス 海洋プラスチックごみなどを例に海洋環境と生物の関係について解説する目的で新施設「エコ・アクアリウム～海の未来を考えよう！～」を設置した。なお、3 月末からの運用予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により延期とした。

セ 公式ホームページでは、トピックスの頻繁な更新、飼育員が書き上げる「ス

トップブログ」などを始めとする最新情報の発信に努め、本年度のホームページアクセス件数は 2,927 万件（前年度 2,712 万件）となった。また、フェイスブックや昨年度から始めたインスタグラムなどの SNS への投稿にも努め、フェイスブックのフォロワー数は 32,018 人（前年度 28,153 人）、インスタグラムのフォロワー数は 25,560 人（前年度 13,325 人）となった。

ソ ゴールデンウィークや夏休み、年末・年始などの集客対策として、東海地区、関西・北陸地区及び長野県へのテレビコマーシャルの放映及び雑誌や新聞への広告、ラジオ番組への出稿などのほか、昨年度から新たな広告手法として始めたフェイスブック、インスタグラムなどの SNS 広告を引き続き実施した。

タ マスメディアに対しては、話題性ある情報提供ができるよう積極的なニュースリリース及び取材対応に努め、62 件のニュースリリース（前年度 81 件）と 312 件の取材対応（前年度 257 件）を行い、多くのマスメディアに取り上げられた。

チ 観光キャンペーンの一環として愛知県はもとより、静岡県、長野県、福井県、兵庫県で一日水族館を実施し、観光推進 PR 及び誘客に努めた。また、名古屋市内の久屋大通公園で 10 月 19 日、20 日に実施された「名古屋まつり」に出展した。

ツ ゴールデンウィーク、夏期間、年末・年始、春休み及び 5 月の運動会の振替休日は、休館日に臨時営業し、集客に努めた。また、ゴールデンウィーク、夏休みには、夜間営業を実施し「夜間割引」を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 3 月 2 日より臨時休館したものの、本年度の入館者数は 2,001,243 人（前年比 95.1%）となり、平成 4 年の開館以来初めて 3 年連続で 200 万人を超えた。

テ 名古屋市主催の音楽とアートのイベント「アッセンブリッジ・ナゴヤ」に協力し、北館エントランスでフルート四重奏のコンサートが開催された。

ト 7 月 21 日から 9 月 1 日まで及び 11 月 23 日から 1 月 19 日までの 2 回に分けて、沖縄県座間味村から受託した「世界が恋する海～座間味村特別展」を運営した。各回とも飼育員を含む当館職員が現地を取材し、その素材を基に制作した動画や写真パネルのほか、座間味村周辺海域で有名なホエールウォッチングなどにちなんだ子クジラの模型展示などを行った。

## ⑧ その他

平成 31 年 3 月より取り扱いを開始した電子チケットの告知を積極的に行うことにより、水族館券売窓口で待つ時間を短くするなど、来館者の利便性を高めた。

また、訪日外国人にもよく利用され、空港やコンビニエンスストアなど多くの場所で採用されている「Japan Connected-free Wi-Fi」に加入し、水族館内で公衆無線 LAN を利用できるようにした。

## ⑨ 指定管理施設（海洋博物館・南極観測船ふじ等）を活用した海事に関する展示等（資料 3）

海洋博物館及び南極観測船ふじにおいて所蔵している海事に関する資料を展示公開することにより、海事思想にふれあう場を提供し、来館者への海事思想普及を促した。

本年度の特別展として、7月20日から9月29日まで、伊勢湾台風60年企画展「古地図から学ぶ尾張の歴史 ～名古屋港から防災を考える～」を開催した。博物館3階にて、江戸時代から現代に至るまでの多数の地図を展示し、「地図」から「地理的な特性」と「時代背景」を読み取り、濃尾平野と伊勢湾がどのような歴史・過去の災害をもって現代に至ったのか、また、これから起こり得る災害について学ぶことで、防災を考えるきっかけとする展示を行った。期間中36,009人の人出で賑わった。

このほか、ポートビル2階においては、回廊ギャラリーを一般市民に展示会場として開放し、無料休憩施設であるポートハウスにおいては、しおかぜコンサートを実施するとともに、名古屋市主催の音楽とアートのイベント「アッセンブリッジ・ナゴヤ」に協力、ポートビル、ポートハウスでのコンサートなどが開催された。その結果、ポートビル2階回廊ギャラリーは15回、ポートハウス休憩所は31回の利用があった。

#### ⑩ 海洋生物等の調査研究（資料5）

海洋生物等の自家採集及び国内外の関係機関と連携して生物収集を行うほか、血統の登録管理や他園館との生物の交換又は貸借の調整を行うとともに、海洋生物等の飼育研究及び希少生物の飼育繁殖研究、フィールド調査、保護活動等の調査研究活動を実施した。

ア 本年度の主な繁殖生物は、ペンギン類5個体、カメ類5個体であった。

イ 野生動物の教育的展示と種の保存事業を促進することを目的に、学术交流協定書を締結している京都大学野生動物研究センター、京都大学霊長類研究所、岐阜大学応用生物科学部、三重大学大学院生物資源学研究科と共同研究を実施した。また、近畿大学農学部、信州大学繊維学部、東海大学海洋学部等とも同様に共同研究を実施した。

ウ 平成23年8月に開始した名古屋港内のスナメリの出現頻度調査は、一時中断していたが、京都大学国際高等教育院附属データ科学イノベーション教育研究センター及び東海大学海洋学部環境社会学科の協力の元、平成28年度から再開している。本年度は「音響観測門による名古屋港へ来遊するスナメリの生態解明と船舶の音響評価」と「名古屋港におけるスナメリの遊泳行動観測」を京都大学野生動物研究センターからの助成金を一部利用して実施した。

エ 学术交流協定を締結している京都大学霊長類研究所の支援を受け、シャチの飼育員による生息地研修を実施した。研修は北海道羅臼町で、北海道シャチ研究大学連合による調査に同行し、研究者との情報交換を行った。

オ 学术交流協定を締結している岐阜大学応用生物科学部と三重大学大学院生物資源学研究科、京都大学野生動物研究センター等から、学生の教育（研修・博物館実習）を目的とした実習生を受け入れた。

カ 京都府で開催された第14回国際エンリッチメント会議をはじめとし、多くの研究会などに参加し、研究発表を行った。

キ 5月28日、29日の2日間、全国の動物園長・水族館長が参加する「日本動物園水族館協会 2019年度通常総会」の会議の運営を担当館として行った。

29日には日本動物園水族館協会総裁の秋篠宮皇嗣殿下が名古屋港水族館をご視察された。

## (2) ガーデンふ頭における賑わいの機会と場を提供する事業

### ① 名古屋港観光施設協議会の運営事業を始めとした観光振興事業（資料6-1及び資料6-2）

ガーデンふ頭地区を中心とした観光施設等が一体的に協力して相互の情報交換や連携を図り、名古屋港の観光情報を広く提供するため、ガーデンふ頭地区観光施設で組織された「名古屋港観光施設協議会」の事務局を務め、名古屋港の観光客誘致に向けた観光推進PR、誘致営業・宣伝事業等を行うとともに、本財団単独事業としても各種PRを行った。

具体的には、県内はもとより中部・北陸・関西地区を中心とした県外地域へも営業活動を展開した。2月中旬以降は予定していた営業訪問活動を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛したが、旅行社等55社、幼稚園・保育園71園、小中学校や高校237校に訪問し、水族館を含む名古屋港エリアの見どころなどをPRして学習旅行などの誘致を図った。訪問した旅行社や学校などには水族館をはじめとしたガーデンふ頭諸施設の資料、水族館カレンダー及び水族館ポスターを贈呈した。なお、訪問がカレンダーの製作より早かった旅行社には郵送する形で贈呈した。

また、インバウンド対策の一つとして、(公財)名古屋観光コンベンションビューローと協力して、10月25日から28日に台湾にて開催された「台中国際旅展」に参加し、ガーデンふ頭諸施設のPRを行った。さらに、12月27日から31日に東京で行われた国内最大の屋内イベントである「コミックマーケット(通称コミケ)」に出展し、グッズ販売等を通してガーデンふ頭諸施設のPRを行った。

学習旅行として来館した団体や、事前の下見に来た教員・旅行社の担当者に対して、ポストカードやペンギン羽根カード、団体向けかんさつノートなどを進呈して、今後の学校団体誘致及び情報収集に努めた。加えて、名古屋をはじめとする近隣地域のホテル・旅館に「名古屋港水族館パートナーシップホテル」として登録していただき、ニュースリリースをはじめとするガーデンふ頭諸施設の情報、割引券及び案内パンフレット等を提供し、積極的な誘客に努めた。

### ② 情報誌の発行

名古屋港の観光施設の情報を掲載した無料情報誌（「名古屋港水族館とガーデンふ頭のにぎやか情報誌」、「ゴーゴー名古屋港（名古屋港ガーデンふ頭ガイドマップ）」等）を発行し、県内外の各所に配布することにより、名古屋港の観光

情報を発信し、来訪者の増加を図った。

③ 各種観光団体及び市内交通機関との連携を図る事業

県内の観光関係団体に加入し、同団体主催のイベントに参加しながら、県内の観光施設との連携及び情報の共有化を図った。また、名古屋市交通局と連携し、市営交通機関利用者に対して、当財団の施設入場料の割引を行い、名古屋港への来訪者の増加を図ることにより、この地域の活性化を図った。このほか、ガーデンふ頭と金城ふ頭の間を運行している水上バス利用者に対して当財団の施設入場料の割引を行い、名古屋港内の回遊性を高め、観光機能の向上を図った。

④ 指定管理施設（ガーデンふ頭臨港緑園・ジェティ）を活用したイベントの開催（資料 7）

ガーデンふ頭地区においてイベントの実施、誘致を通じ、港に賑わいを創出し親しまれる港づくりを推進した。

- ア 11月に開催した「名古屋港開港祭フレンドリーポート2019」や正月3日間開催した「新春みなとカーニバル2020」の事務局を務め、賑わいを創出するとともに名古屋港のPRや集客に努め、県外も含めて、多くの来港者で賑わった。
- イ ジェティ広場においては、年間を通じて各種イベントを開催、誘致し、ガーデンふ頭地区の賑わいづくりに努めた。また、繁忙期（GW・お盆等）には、ジェティテナント会の販売促進事業として、同広場を活用した集客イベントを実施することで、来港者へのサービス向上につなげた。

⑤ 指定管理施設（ガーデンふ頭臨港緑園・ジェティ）において賑わいの場を提供する事業

ガーデンふ頭臨港緑園及びジェティの運営を通じガーデンふ頭における賑わいの場を提供した。

- ア ガーデンふ頭臨港緑園は、緑地維持業務、花壇整備等の施行により、緑豊かで快適な環境造りの推進に努めた。また、園内諸施設について、本来の美しい景観を甦らせるよう改修・修繕を積極的に実施した。
- イ ジェティにおいては、飲食、物販のスペースを含めた休憩施設としての機能を生かし、名古屋港水族館を支援するとともに、名古屋港の観光施設の情報を提供・発信することにより、親しまれる港としての名古屋港の発展に寄与した。

## 2 公益目的事業以外の事業

### (1) 管理運営する施設の利便性を向上させる事業

ミュージアムショップ、レストラン、売店及び自動販売機を運営することにより、公益目的事業の一助とした。

また、平成26年2月より発足し、生物の保護、繁殖研究等の役割のさらなる向上に貢献している名古屋港水族館法人サポーター制度の会員数は、本年度末には138社、218口となった。

## (2) 船員宿泊施設の運営事業 (資料 8)

平成 25 年 10 月より、船員宿泊施設である名古屋船員会館 (ハーバーロジ  
なごや) の運営を行い、船員はもとより来港者の宿泊を促し、観光事業の振興の  
一助とした。

## 3 その他

名古屋港水族館以外の企業や団体などとの相互誘致、知名度アップなどの目的で、  
以下のイベントなどを行った。

ア 10 月 4 日の「イワシの日」にちなんで、株式会社浜乙女とタイアップして、  
「イワシの日記念スペシャルイベント」を実施した。(10 月 5 日、6 日)

イ 共に“シャチ”をシンボルとすることにちなんで、地元 J リーグチーム名  
古屋グランパスとタイアップして、同チームが展開する企画「鯨の大祭典」中  
のイベント「シャチに夢中」を実施した。(7 月 20 日、8 月 24 日、25 日、30  
日)

ウ シャチの飼育展示にちなんで、外装色に黒と白を採用したシャチをイメー  
ジさせる機体を運航する航空会社スターフライヤーとタイアップして、「シャ  
チタイアップキャンペーン」を実施した。(10 月 25 日～28 日 (台中)、11 月  
16 日、17 日)

エ 水族館を舞台としていることにちなんで、6 月 7 日公開の映画『海獣の子供』  
とタイアップして、企画展「映画『海獣の子供』公開記念 海獣展」を実施し  
た。(6 月 4 日～30 日)

資料1 スクール等の参加状況

1 「君もドリトル先生になれるか！」対象：小学生と保護者

回	日	タイトル	参加人数
1	7/24	イルカ A 班	36 名
2	7/24	イルカ B 班	38 名
3	7/28	黒潮大水槽 A 班	36 名
4	7/28	黒潮大水槽 B 班	34 名
5	7/31	イルカ A 班	36 名
6	7/31	イルカ B 班	35 名
7	8/4	ペンギン A 班	33 名
8	8/4	ペンギン B 班	34 名
9	8/7	シャチ A 班	35 名
10	8/7	シャチ B 班	37 名
11	8/18	ウミガメ A 班	31 名
12	8/18	ウミガメ B 班	33 名
13	8/21	ベルーガ A 班	38 名
14	8/21	ベルーガ B 班	34 名
15	8/25	黒潮大水槽 A 班	31 名
16	8/25	黒潮大水槽 B 班	30 名
参加総数合計			551 名

2 「もっと知りたい！ダーウィン教室」

回	日	タイトル	対象	参加人数
1	5/12	感じて納得！めざせシャチ博士	小 1～3	16 名
2	6/9	知ればもっと好きになる！？ペンギンあれこれ	小 4～6	15 名
3	9/1	さわってさわって！ヒトデとウニのワンダーランド	小 1～3	17 名
4	10/6	ウミガメの命をつなぐ	小 1～3	16 名
5	11/10	感じて納得！めざせシャチ博士	小 4～6	15 名
6	12/8	ウミガメの命をつなぐ	小 4～6	15 名
7	1/19	体力勝負！？イルカのトレーナー体験	小 4～6	16 名
8	2/9	体力勝負！？イルカのトレーナー体験	小 1～3	16 名
9	3/8	大接近！ベルーガ飼育の舞台裏	小 4～6	※中止
参加総数合計				126 名

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（臨時休館）

### 3 その他スクールなどへの参加状況

事業名	開催件数	参加者数
水族館スクール	24 回	677 名
職場訪問、館内レクチャー	83 件	3,744 名
	うち 水族館 66 件 海洋博物館 17 件	うち 水族館 3,017 名 海洋博物館 727 名
職場体験	24 校	55 名
	うち 水族館 13 校 海洋博物館 11 校	うち 水族館 32 名 海洋博物館 23 名

### 4 教員研修受け入れ人数

(人)

	名古屋市	愛知県	合計
小学校	0	2	2
中学校	0	4	4
高校	0	7	7
その他	0	5	5
合計	0	18	18

※ その他には、聾学校が含まれる。

## 資料2 機関紙等の発行

### 1 機関紙「さかなかな」

Vol. 102	2019 SUMMER	特集：ウミガメ回遊水槽リニューアルオープン
Vol. 103	2019 AUTUMN	特集：特別展「カラフルコレクション～絢爛華麗（けんらんか れい）な水の生き物たち」
Vol. 104	2019 WINTER	特集：シャチの公開トレーニング～メインプール編～
Vol. 105	2020 SPRING	特集：楽しい発見お手伝いします～名古屋港水族館ボランティア 25周年

### 2 生物情報誌「新着！海の生き物レター」

4/23 (2019)	バンドウイルカの「ハル」もりもり成長中！
5/8	ウミガメ回遊水槽リニューアル！
7/5	北海道はシャチがいっぱい！
8/17	昭和基地からやってきた 南極の魚ついに登場!!
8/31	4年ぶりの搬入！ 幻の魚スマ
10/26	ペンギンの繁殖シーズン来る！ 今季の新たな試み
2/20 (2020)	都会に現れるイルカ 名古屋港のスナメリ調査

資料3 ポートビル施設特記事項

事業名	開催会場	実施時期	参加人数
特別企画展「名古屋港とポートビルの平成を振り返る」	3階博物館内	4/27～6/16	23,774人
伊勢湾台風60年企画展「古地図から学ぶ尾張の歴史～名古屋港から防災を考える～」	3階博物館内	7/20～9/29	36,009人
第35回ボトルシップ展	3階博物館内	11/1～1/13	25,883人
帆船模型展	2階C・D会議室	11/12～11/24	1,146人
第16回南極教室	4階講堂	10/6	50人
第52回名古屋港港湾ゼミナール	4階講堂	9/19	82人
第34回名古屋港を描いた作品コンクール	4階講堂	開催日 11/3 表彰式 2/2	600点
第13回南極観測船ふじでの星空観察会	南極観測船ふじ	12/14、15	40人
オホーツクの流氷展 『オホーツクの流氷に触れてみませんか』	南極観測船ふじ	※中止	※中止
第35回ボトルシップの作り方入門教室	4階講堂	8/4	71人
夏休み工作教室(3D立体色紙を作ろう！)	4階講堂	8/18	49人
工作教室(ペーパークラフト教室)	3階博物館内	4～10月1～2月の第4土曜日	239人
工作教室(立体カード工作教室)	3階博物館内	4～10月1～2月の第2土曜日	117人
ボトルシップ製作講座	3階博物館内	11・12月の土日祝	37人

※ 中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館）

#### 資料4 ボランティア活動特記事項

##### 1 水族館

事業名	活動延べ時間	活動延べ人数
水族館内解説活動 (タッチタンク・マイクロアクアリウム・ 南極コーナー・ウミガメ・ペンギン・サ ンゴ・進化の海)	8,922 時間 15 分	2,236 人
水族館スクール支援活動	346 時間 30 分	96 人
その他 (ワークショップ開催等支援活動)	1,551 時間 15 分	440 人

##### 2 南極観測船ふじ

事業名	活動延べ時間	活動延べ人数
メンテナンスボランティア	58 時間	22 人
解説ボランティア	435 時間	174 人

##### 3 名古屋海洋博物館

事業名	活動延べ時間	活動延べ人数
解説ボランティア	190 時間	93 人

資料5 飼育展示等関係特記事項

項 目	内 容
展示	<p>1 特別展の実施</p> <p>(1) 特別展「寿司ネタ大集合 ～水族館が斬る！寿司のいろいろ～」を開催（3/16～6/2）  寿司ネタとしての生物を水族館的に紹介することを目的として展示</p> <p>(2) 特別展「カラフルコレクション ～絢爛華麗（けんらんかれい）な水の生き物たち～」を開催（7/13～1/19）  水中でくらす生物の体色、模様不思議や役割を紹介</p> <p>2 期間展示の実施</p> <p>(1) 季節展示  改元、ナマズ、七夕、金魚（涼）、ハロウィン、クリスマス、正月・干支、バレンタイン、サツキマス</p> <p>(2) 改元記念 写真展「名古屋港水族館の歩み」（4/13～6/3）</p> <p>(3) 一括交付金 がんばる観光支援事業「県外 PR」運営  「世界が恋する海～座間味村特別展～」（7/21～9/1、11/23～1/19）</p> <p>3 常設展示の変更</p> <p>(1) 南館 1 階“日本の海”コーナー「潮間帯の生物水槽」を全面補修工事</p> <p>(2) 南館休憩コーナーを新施設「エコ・アクアリウム～海の未来を考えよう！」に全面改修工事  ※ (1) (2)ともに、3月末のオープン予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため延期</p> <p>4 解説・バックヤードツアー等</p> <p>(1) 南館フィーディングタイム  ・黒潮大水槽、サンゴ礁大水槽、ウミガメ回遊水槽、ペンギン水槽</p> <p>(2) 黒潮大水槽  ・マイワシのトルネード（毎日）</p> <p>(3) サンゴ礁大水槽  ・ダイバーコミュニケーション（毎日）</p> <p>(4) ペンギン水槽  ・ペンギンコミュニケーション（土曜日、夏休み期間平日）  ・ペンギンミニ講座（4～9月の土日祝）</p> <p>(5) イルカ  ・イルカパフォーマンス（毎日）</p> <p>(6) ベルーガ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルーガの公開トレーニング（毎日）</li> <li>・「ベルーガの不思議な魚の食べ方」実施（毎週土・日・祝・繁忙期）</li> </ul> <p>(7) シャチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインプールなどで公開トレーニング解説実施（毎日）</li> </ul> <p>(8) アザラシ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィーディングタイム（毎日）</li> </ul> <p>(9) ケープペンギン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィーディングタイム（毎日）</li> <li>・「ペンギンよちよちウォーク」（4/1～6/30、9/14～11/30 毎日）</li> </ul> <p>(10) 夏休み期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お泊り水族館（計 25 組 66 名参加）（7/29～30、8/5～6）</li> </ul> <p>(11) その他の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイトウォッチング（10/5～27 の土日祝 計 8 回、333 名参加）</li> </ul> <p>(12) 黒潮大水槽バックヤードツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体向け黒潮大水槽バックヤードツアー（132 件、5,443 人）</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">4 月</td> <td style="width: 10%;">3 件</td> <td style="width: 25%;">82 人</td> <td style="width: 25%;">10 月</td> <td style="width: 10%;">17 件</td> <td style="width: 15%;">885 人</td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>6 件</td> <td>416 人</td> <td>11 月</td> <td>12 件</td> <td>446 人</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>10 件</td> <td>730 人</td> <td>12 月</td> <td>15 件</td> <td>188 人</td> </tr> <tr> <td>7 月</td> <td>18 件</td> <td>774 人</td> <td>1 月</td> <td>11 件</td> <td>331 人</td> </tr> <tr> <td>8 月</td> <td>23 件</td> <td>904 人</td> <td>2 月</td> <td>8 件</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>9 件</td> <td>387 人</td> <td>3 月</td> <td>0 件</td> <td>0 人</td> </tr> </table> <p>(13) ボランティアによるワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによるお話し会 （5/12：70 名、8/24：70 名、8/25：70 名、1/25：65 名）</li> <li>・ボランティアフェスタ ウミガメ（1/12：200 名） 鯨類（11/17：300 名） にぼしの解剖（2/2：300 名）</li> <li>・ボランティアによる工作会 ちくちくペンギン教室（フェルト工作）（6/8：40 名、1/19：35 名） オリジナルポストカード作成（5/2：100 セット） オリジナルうちわ作成（7/27：150 枚）</li> </ul> <p>(14) 金城学院大学によるワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙教室（5/4：250 名、5/5：300 名、12/1：70 名）</li> </ul>	4 月	3 件	82 人	10 月	17 件	885 人	5 月	6 件	416 人	11 月	12 件	446 人	6 月	10 件	730 人	12 月	15 件	188 人	7 月	18 件	774 人	1 月	11 件	331 人	8 月	23 件	904 人	2 月	8 件	300 人	9 月	9 件	387 人	3 月	0 件	0 人
4 月	3 件	82 人	10 月	17 件	885 人																																
5 月	6 件	416 人	11 月	12 件	446 人																																
6 月	10 件	730 人	12 月	15 件	188 人																																
7 月	18 件	774 人	1 月	11 件	331 人																																
8 月	23 件	904 人	2 月	8 件	300 人																																
9 月	9 件	387 人	3 月	0 件	0 人																																
<p>調査研究 シンポジウム 関係等</p>	<p>1 共同研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 岐阜大学応用生物科学部と「ブタバナガメの繁殖生理に関する共同研究」「ベルーガの性行動に関する共同研究」</li> <li>(2) 京都大学霊長類研究所と「飼育下イルカ類（特にシャチ）を対象とした比較認知科学研究」</li> <li>(3) 京都大学国際高等教育院附属データ科学イノベーション教育研究セ</li> </ul>																																				

ンター、東海大学海洋学部環境社会学科と「名古屋港に来遊するスナメリの周年変動」

(4) 三重大学大学院生物資源学研究科附属鯨類研究センター、岐阜大学応用生物科学部（動物繁殖学研究室）、近畿大学農学部（海棲哺乳類学研究室）と「シャチの繁殖に関する研究」

(5) 三重大学大学院生物資源学研究科と「アカイカ、アオリイカの発生に関する研究」

(6) 三重大学大学院生物資源学研究科と「名古屋港の外来ウミウシ生態調査」

(7) 三重大学大学院生物資源学研究科と「アカムツの水槽内行動に関する研究」

(8) 三重大学大学院生物資源学研究科附属鯨類研究センターと「ベルーガ及びシャチのあくび様行動について」

(9) 近畿大学農学部と「シャチの社会行動とホルモンに関する研究」

(10) 近畿大学農学部、京都大学霊長類研究所と「飼育シャチにおける目使用に関する研究」

(11) 近畿大学農学部と「飼育バンドウイルカにおける社会構造に関する研究」

(12) 信州大学繊維学部機械・ロボット学科と「イルカの立ち泳ぎメカニズムの解明と高推力水中推進機構開発への応用」

(13) 神奈川大学理学部生物科学科、金沢大学環日本海域環境研究センターと「ナンキョクオキアミの外骨格タンパク質に関する研究」

## 2 シンポジウム・研究会などの参加

(1) 第14回国際エンリッチメント会議（6/22～26）

・「Finless porpoise project in Nagoya Port」をポスター発表

(2) 日本動物園水族館協会 第118回中部ブロック飼育技術者研修会（7/3、4）参加

(3) 野生動物保全繁殖研究会（7/4、5）

・「飼育下エンペラーペンギンの交尾期における行動パターン」をポスター発表

(4) 第25回日本野生動物医学会大会（8/30、9/1）

・「授乳中バンドウイルカにおけるポリコナゾールの胎盤・乳汁移行」を口頭発表

(5) International Jellyfish Breeding Study Meeting（9/20、21）

・「名古屋港水族館で発生したミズクラゲの進行性穴あき病と処置について」を口頭発表

(6) 日本動物園水族館協会 第45回怪獣技術者研究会（11/6、7）

・「CT搭載車を活用した脊椎湾曲バンドウイルカのCT撮影」を口頭発表

(7) 日本動物園水族館協会 第119回中部ブロック飼育技術者研修会

(11/20、21)

- ・「ナイトウォッチング」の開催について」を口頭発表

(8) 第30回日本ウミガメ会議 (11/15～17)

- ・「石垣島から放流したアオウミガメの沖縄島での再捕獲」を口頭発表

(9) 日本動物園水族館協会 第67回水族館技術者研修会 (1/29～31)

- ・「シイラの周年飼育例」を口頭発表

(10) 平成30(2018)年度 開洋丸 第4次航海(第10次南極海調査)南極海東インド洋区におけるナンキョクオキアミを中心とした生態系総合調査予備解析結果検討会 (12/2)

- ・「名古屋港水族館におけるナンキョクオキアミ飼育」を口頭発表

(11) 第10回極域科学シンポジウム (12/4) 参加

(12) 羅臼のシャチ調査(京都大学霊長類研究所共同研究) (5/23～27) 参加

(13) 第2回犬山鯨類鰭脚類行動シンポジウム (10/19)

- ・「シャチトレーナーが見た自然界のシャチ in 羅臼」を口頭発表

(14) 第15回スナメリ研究会 (11/11) 参加

(15) 日本動物園水族館協会 第21回種保存会議 (11/23～25)

- ・「名古屋港スナメリプロジェクト」をポスター発表

(16) 2019年度勇魚会シンポジウム (11/30、12/1)

- ・「トレーナーの見るイルカの行動」を口頭発表

(17) 第60回日本動物園水族館教育研究会柏大会 (12/14、15)

- ・「25周年を迎えた名古屋港水族館のボランティア、その満足度の高さを運営システムから考える」をポスター発表

(18) 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「水族館における教育とアウトリーチ活動。現状と展望」(12/16、17)

- ・「名古屋港水族館とその解説ボランティアは魚と水、まさにワンチームである」を口頭発表

(19) 日本鯨類研究協議会(JACRE)第3回広報セミナー参加 (1/15)

### 3 シンポジウム・研究会などの開催

(1) 日本動物園水族館協会 2019年度通常総会 (5/28、29) 名古屋観光ホテル(秋篠宮皇嗣殿下以下201名)

### 4 展示、研究協力

(1) 名古屋ECO動物海洋専門学校より延べ16名の研修受入れ(周年)

(2) 東京ECO動物海洋専門学校より研修生受入れ(1名)  
(6/28～7/11)

(3) 大阪動植物海洋専門学校より研修生受入れ(3名)  
(11/9～12/12)

(4) 岐阜大学応用生物科学部実習生受入れ(3名)  
(8/12～25、8/26～9/8、9/17～30)

(5) 三重大学生物資源学部実習生受入れ(3名)

	<p>(9/2～15、9/9～22、9/17～30、10/1～14)</p> <p>(6) 京都大学大学院農学研究科より飼育実習生受入れ (1名) (8/1～10)</p> <p>(7) 愛媛大学社会共創学部実習生受入れ(1名) (9/1～7)</p> <p>(8) 愛知県立三谷水産高校実習生受入れ (6名) (8/22・23、8/26・27、8/29・30)</p> <p>5 職員派遣</p> <p>(1) 日本動物園水族館協会から委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンツーペンギン等、血統登録担当者 (継続)</li> <li>・生物多様性委員会国際保全事業部員 ～R2年5月</li> <li>・教育普及員会学術研究部員 ～R2年5月</li> <li>・総務委員会情報システム運営部員 ～R2年5月</li> <li>・令和元年度生物多様性委員会 (6/4、2/1)</li> <li>・令和元年度学術研究部会 (10/10、2/20)</li> <li>・令和元年度情報システム運営部会 (Web会議)</li> </ul> <p>(2) 日本水族館協会 (旧:日本鯨類研究協議会) から委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯨類長期飼育・繁殖推進委員</li> <li>・幹事</li> <li>・幹事会 (10/7)</li> </ul> <p>(3) その他委嘱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度愛知県外来種検討委員</li> <li>・令和元年度名古屋市動植物実態調査に係る専門家会合</li> </ul> <p>(4) 館外レクチャー (一般等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市立大学にて講義「動物とヒトの進化多様性」に1名講師派遣 37名参加、35名参加 (6/21、9/12)</li> <li>・名古屋市高年大学鯉城学園に1名講師派遣「ウミガメの命をつなぐ」 21名参加 (7/3)</li> <li>・熱田神宮緑陰教室に1名講師派遣 小3～4 約260名が参加 (7/31)</li> <li>・名古屋港ポートビルにて第52回名古屋港港湾ゼミナール「名古屋港の外来生物」に1名講師派遣 82名参加 (9/19)</li> <li>・稲永ビジターセンターにて「藤前干潟ふれあい事業」に1名講師派遣 15名参加 (10/5)</li> <li>・岐阜県瑞浪市立瑞浪南中学校に1名講師派遣 中1～3 15名参加 (11/13)</li> <li>・知多市立東部中学校に1名講師派遣 中1 50名参加 (1/16)</li> </ul>
<p>講演 イベント等</p>	<p>1 飼育 (4/19) の日イベント (4/19～21) 「飼育の日キーパートーク」「子ガメとのふれあい」</p> <p>2 サンマーク出版主催ペンギンイベント (4/19～21)</p>

	<p>3 「子ガメにタッチ」を南館3階で7/21～8/31の平日に実施</p> <p>4 名古屋駅前ミッドランドスクエアにて「AQUA LIVE! in ミッドランドスクエア 2019」を開催(8/3～18)</p> <p>5 学術交流協定共同研究講演会 「北海道でのシャチ研究 なぜシャチは北海道の海にやってくるのか」 講師：北海道大学北方生物圏フィールド研究センター 三谷曜子准教授 (北館レクチャールーム)(参加者83名)(10/20)</p> <p>6 あいち・なごや生物多様性 EXPO でスナメリ調査・鯨類の多様性紹介ブース出展(1/13、14)</p> <p>7 受験生応援企画「エンペラーペンギンの幸せの黄色い羽根をプレゼント」を1/12、13に実施</p>												
主な繁殖動物	<table> <tr> <td>1</td> <td>キタジェンツーペンギン</td> <td>1 個体</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>アデリーペンギン</td> <td>1 個体</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ケープペンギン</td> <td>3 個体</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ニシキマゲクビガメ</td> <td>5 個体</td> </tr> </table>	1	キタジェンツーペンギン	1 個体	2	アデリーペンギン	1 個体	3	ケープペンギン	3 個体	4	ニシキマゲクビガメ	5 個体
1	キタジェンツーペンギン	1 個体											
2	アデリーペンギン	1 個体											
3	ケープペンギン	3 個体											
4	ニシキマゲクビガメ	5 個体											
飼育動物の譲渡等	<p>1 ブリーディングローン(繁殖を目的とした生物の貸借)</p> <p>(1) アドベンチャーワールドとエンペラーペンギンのブリーディングローンを平成21年から継続中</p> <p>(2) 鳥羽水族館とニシキマゲクビガメのブリーディングローンを平成21年から継続中</p> <p>(3) 長崎ペンギン水族館にヒゲペンギンのブリーディングローンを平成26年から継続中</p> <p>(4) 八景島シーパラダイスとバンドウイルカ(雄3頭)のブリーディングローンを平成29年度から継続中</p> <p>(5) 東京都恩賜上野動物園から平成29年度よりブリーディングローンで21羽借受け</p> <p>2 生物の貸し出し及び譲渡</p> <p>(1) 名古屋市科学館へアデリーペンギンの骨格標本貸し出し(6/19～)</p> <p>(2) アクア・トトぎふへウナギ11個体譲渡(7/25)</p> <p>3 生物の交換等</p> <p>(1) 熊本県天草シードーナツと2017年産アカウミガメ2頭(4/15)、ウミウシ類の交換</p> <p>(2) シーライフ名古屋とゴンズイ・ゴマモンガラ、タカアシガニの交換</p> <p>(3) 大洗水族館とクロヘリメジロ2個体(10/25)とクラカケザメ4個体、ヒラアシクモガニ3個体、アシナガサング5個体(12/10)の交換</p> <p>(4) 横浜八景島シーパラダイスとトラザメ14個体、タカアシガニ2個体の交換(2/11)</p> <p>(5) 志摩マリンランドとアカクラゲ5個体(2/14)、ポットベリーシーホース6個体の交換(2/13)</p>												

- |  |   |
|--|---|
|  | <p>(6) 葛西臨海水族園よりノトテニアコリセプス仔魚を譲り受け (6/7)</p> <p>(7) 大分マリーナパレス水族館「うみたまご」よりミズクラゲ 22 個体を譲り受け (7/6)</p> <p>(8) 加茂水族館よりミズクラゲ 22 個体を譲り受け (7/12)</p> <p>(9) かがしま水族館よりミズクラゲ 12 個体を譲り受け (7/12)</p> <p>(10) アクアワールド茨城県大洗水族館よりミズクラゲ 60 個体を譲り受け (7/20)</p> |
|--|---|

資料6-1 誘致宣伝事業・観光振興事業特記事項

事業名	開催場所	開催時期
名古屋まつり	名古屋市久屋大通	10/19～20
旅まつり名古屋 2020 (中止) ※	名古屋市久屋大通	3/14～15

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

資料6-2 団体観光客及び学習旅行の誘致等のため訪問した施設

地方	出張先	小学校	中学校	高 校	幼稚園 保育園	旅行社	ランド・オ ペレーター	計
東海	岐阜				40			40
	静岡			22		9		31
	東海計			22	40	9		71
関西	大阪	84				6		90
	神戸					3		3
	京都	43			1	17		61
	滋賀	9	5		21			35
	関西計	136	5		22	26		189
甲信越	長野	59				5		64
北陸	福井	1	10	1	9			21
	石川		3					3
	北陸計	1	13	1	9			24
関東	東京					12	4	16
	計	196	18	23	71	52	4	364

資料7 施設の管理運営特記事項（各施設の利用状況）

1 各施設の利用実績

施設名	入館者数又は利用数
名古屋港水族館	2,001,243 人
ポートビル 講堂・会議室	837 回
同 展望室	150,353 人
同 名古屋海洋博物館	139,698 人
同 2階回廊ギャラリー	275 日
南極観測船ふじ	164,818 人
ポートハウス休憩所（しおかぜコンサート等催し物 31 件）	2,577 人
ガーデンふ頭一般駐車場	272,487 台
つどいの広場イベント	15 回
ジェティ来館者	1,184,808 人
ジェティ広場イベント	10 回

2 つどいの広場利用実績

事業名	主催者	日程	来場者数
JC 青年の船 出航式	46 回 JC 青年の船「とうかい号」歓送迎委員会	6/2	約 1,200 人
JC 青年の船 帰港式	46 回 JC 青年の船「とうかい号」歓送迎委員会	6/8	約 1,200 人
わんだらけ	日本ドッグマルシェ協会	6/9	約 1,000 人
LAGP2019-2020 チャンピオンシリーズ	(株) LAGP	6/23	約 1,200 人
第 73 回名古屋みなと祭	海の日名古屋みなと祭協賛会	7/15	約 340,000 人
がんばっぺし 2019	がんばっぺし実行委員会	8/17	約 5,000 人
タミヤ RC カーグランプリ	(株) タミヤ	9/13	約 800 人
わんだらけ	日本ドッグマルシェ協会	9/22	約 1,000 人
毛遊び	愛知沖縄県人会連合会	10/20	約 5,000 人
令和元年度港区区民まつり	港区区民まつり実行委員会	11/3	約 65,000 人
名古屋港開港祭フレンドリーポート 2019	フレンドリーポート実行委員会	11/10	約 40,000 人
NAGOYA PORT WINTER ILLUMINATION	名古屋港冬のにぎわい創出実行委員会	12/7~25	約 25,800 人
わんだらけ	日本ドッグマルシェ協会	12/8	約 1,000 人
ISOGAI 花火劇場 in 名古屋港	名古屋港冬花火実行委員会	12/21	約 50,000 人
名古屋市消防出初式	名古屋市消防局	1/12	約 12,000 人

### 3 ジェティ広場利用実績

事業名	主催者	日程	来場者数
パフォーマーフェスティバル &大道芸教室	ジェティテナント会	4/27～5/6	約 20,000 人
松陰高校和太鼓部 和太鼓 演奏	愛知県立松陰高校和太鼓 部	5/2	約 2,000 人
パフォーマーフェスティバル &ゲームコーナー	ジェティテナント会	8/10～17 ※	約 14,000 人
サマー献血キャンペーン	愛知県学生献血連盟 愛知県赤十字センター	8/18	約 6,000 人
秋のミニコンサート	東海学生吹奏楽連盟	9/22	約 2,000 人
ハワイアンポートマーケット	ハワイアンポートマーケ ット実行委員会	10/26、27	約 6,000 人
よせ植え作品発表会	ゆめランド稲荷公園愛護 会	11/3～10	約 2,000 人
うみそらマルシェ	うみそらマルシェ実行委 員会	11/3	約 3,000 人
新春みなとカーニバル 2020	ガーデンふ頭新春イベン ト実行委員会	1/1～3	約 18,800 人
消防出初式関連イベント 「消防ふれあい広場」	名古屋市消防局	1/12	約 3,000 人

※8/15 は台風のため実施せず

ナゴヤポップアップアーティ スト	ナゴヤ・パフォーマー事業 実行委員会	令和元年度中 49 日間利用
ジェティ広場大道芸	(一社) 中部大道芸まちづ くり協会	令和元年度中 58 日間利用

## 資料8 名古屋船員会館宿泊実績

月	宿泊人数	前年度比
4月	2,565人	107.4%
5月	2,415人	104.1%
6月	1,712人	111.0%
7月	2,196人	95.2%
8月	3,118人	90.2%
9月	2,026人	96.9%
10月	1,707人	82.3%
11月	2,510人	130.8%
12月	1,846人	88.8%
1月	1,449人	119.7%
2月	1,905人	127.1%
3月	1,141人	49.8%
合計	24,590人	97.7%